

名市工 NEWS

<第 221 号>

自動車科デザインコース 発表会

自動車科3年のデザインコースは、未来の車のデザインを考え、クレイモデルを製作する取り組みを行っています。今年度もテーマを「ユネスコスクール課題 困っている人に豊かさを提供できる車」と設定し、生徒が「世界の課題を解決するために自動車にできることは何か」を考えながら車のデザインづくりを進めてきました。



この自動車科デザインコースは中間発表会を12月18日の授業で実施しました。

生徒が真摯に課題に向き合い、その解決を懸命に考えたことがよく伝わってくる素敵な発表会でした。被災者を救出する車や水没しない車、ボランティア活動を支援する車、子どもと母親を快適に送迎するバス、障害がある人も自由に運転できる車、風を電力に変換して動く自動車などさまざまな発想とデザインが紹介されました。車のコンセプトとデザインを一から考えることの難しさを感じている生徒の姿をととても頼もしく感じました。ものづくりは社会を変える力を持っています。名市工生には、ものづくりの力を社会や人のために生かすことができる人間に育ってほしいと思います。その可能性を感じることでできる楽しい授業でした。

さて、デザインコースの皆さんは、デザイン画をもとに製作しているクレイモデルを完成させて、公益社団法人自動車技術会が主催するカーデザインコンテストに出品するとのことです。完成を楽しみにしています。